

(様式第2号)

## 協働推進モデル事業計画書

※記載が複数ページにわたっても良いので、できるだけわかりやすく具体的に記載してください。  
ただし、この計画A4サイズ6ページ以内で作成してください。

提案者	提案団体名	特定非営利活動法人オカヤマビューティサミット (担当者名 柚木幸子)				
	合同提案団体 (協議体・実行委員会等で提案される場合は構成団体をすべて記載してください。)					
	協働する岡山市の 担当課等と担当者	課名	こども福祉課	電話	086-803-1221	
		担当	氏名	武 裕子	職名	課長補佐
			氏名	池上 恵子	職名	副主査
		課名		電話		
担当	氏名		職名			
	氏名		職名			

※以下、箇条書きなどによりできるかぎり簡潔に記載してください。

### (1) 事業の目標

①解決を目指す社会問題 または実現を目指す理想	ひとり親でも子育てしながら働き、経済的に自立できる社会。 シングルマザーが経済的自立につながる技術や知識を身に付ける支援が幅広くある。 短時間での正規雇用など経済的自立ができる就労の機会がある。
②約3年後に実現を目指す 社会や対象の状況	シングルマザーが、エステティック・アロマセラピー技術資格を取得し、就労・開業につなげる支援の仕組と場所を作る。講師資格制度を創設し、就労3年以上の経験者に講師資格を出すことで、より経済的自立が進むようにしていく。 また、就労現場となるサロンと保育園等との連携を開拓し就労の幅を広げる。
③約2年後に実現を目指す 社会や対象の状況	短時間労働で正社員として雇用できるサロンを開拓し、更に働きやすい環境づくりを行う。 受講料など経済的な負担が少なく受講でき、就労効果をあげていくために、本資格取得プログラムが「岡山市母子及び父子家庭自立支援教育訓練給付金事業」の対象となる講座と認められるか、官民の協働でひとり親家庭の就労を促進するSIBの活用も視野に入れ検討する。 また技術取得の内容をエステティックだけでなくアロマセラピーも取り入れる。
④1年後に実現を目指す 状況	受講者のシングルマザーがエステティックの技術資格を取得し、子育てと両立し経済的自立ができる就労を果たしている状況を目指す。

⑤「④」の実現を阻む要因	ひとり親で子どもを育てながら長時間働くことが困難 経済的自立につながる資格を取得する費用と時間を生み出すことが困難。
⑥「⑤」を示す情報又は仮説（調査結果、当事者の声、他地域との比較など）	<p>平成 28 年の国民生活基礎調査によると、子どもの 7 人に 1 人が、ひとり親家庭では半分が貧困状態にあるという結果がでている。母子世帯の母親の 8 割が就業しているものの、「正規の職員・従業員」の 44.2%に対し、「パート・アルバイト」「派遣社員」などの非正規雇用は 43.8%とほぼ半数を占めている（「平成 28 年度 全国ひとり親世帯等調査」（厚生労働省））。</p> <p>正規雇用という枠組みが子育て世帯にとって負荷が大きいため、特に小さな子どもがいる家庭はあえて非正規雇用を選択することもあるが、収入が安定しないことへの生活への不安感や、経済的な負担感は大い。前提として、既存の正規雇用の枠組みや社会的な印象についても課題があることが伺える。</p> <p>このようなことからシングルマザーにとって、就労と子育ての両立と経済的自立をめざすために、精神的負担感なく安定した収入の職場をつくるとともに、女性の立場を活かし、生活に負担感がなく職能技術の獲得をすることができる場が必要になると考えられる。</p> <p>当団体の得意とする、エステティック・アロマセラピー技術は手に職となる為、将来的にひとり親でも開業でき、また全国的に、サロンの人材不足が懸念されており、エステティックやアロマセラピー業界には、就職も可能になりやすい。</p> <p>しかし、このような職につく（就労の幅をひろげる）ために、技術習得をし、自身の環境にあった職を選択することを望もうとしても「働きながら資格を取る」ことに重点を置くと、技術取得による費用が最低 20～50 万かかり、費用がかからない求職者支援制度を利用した場合、最低 3 ヶ月全日制で時間が拘束されてしまう。これでは、時間・経済的余裕がある一部のひとり親にしか受講できないため、就労プログラムして確立し教育訓練としての認可を得ることやソーシャルインパクトボンドの仕組づくりを検討し適切に就労・開業につなげていく工夫が必要となる。</p>

## （２）本事業の内容

⑦「⑤」の中から本事業で解決を目指す要因と事業の内容	<p>（要因）シングルマザーの経済的自立につながる技術・資格取得のための新たな講座や仕組みづくりと就労支援。</p> <p>（事業）</p> <p>●シングルマザーの技術習得支援</p> <p>「ハンド技術」として手に職をつけることができる「エステティック」や「アロマセラピー」は、女性たちが興味・関心を持って仕事に向き合い、経済的自立につなげていくことができる。地元での支援のある「通信」と休日の「スクーリング」を組み合わせた講座を実施することで、働きながらも短期間で確実に技術と知識を習得できるよう支援する。8 名程度の受講を想定</p> <p>●就労支援</p> <p>本事業に賛同し就労先となる賛同企業の開拓を行う。技術習得をしたシングルマザーと就職先をつなげる支援を行う。全員の就労を目指す。</p>
⑧事業の有効性を示す根拠（当事者のニーズ、	エステティック・アロマセラピー技術は手に職となる為、将来的にひとり親でも開業できる。また全国的に、サロンの人材不足が懸念されており、エステティックやアロマセラピー業界に

他地域の成功事例など)	は、就職も可能になりやすい
⑨提案事業の成果を測定する指標(定量・定性の両方またはいずれか)	・賛同企業数 ・就職率 ・講習参加数 ・講習合格率

### (3) 協働の必要性と実施体制

	提案団体	担当課
事業の役割分担 (提案団体が複数の場合は各団体の役割分担も記載)	①カリキュラム作成・実施 ②就職先の開拓と紹介	①ひとり親家庭への募集等広報活動 ②教育制度としての認定やSIBの仕組づくりの検討 ③ハローワークなど関係機関への周知
役割分担の理由 (それぞれが持つ経験、実績、情報、当事者性など)	①専門的な知識と技術を有した育成してきた実績を有している。 ②関係企業のネットワークを有している。	
協働効果を高めるための工夫(目的や情報共有の方法など)	定例会議を開催し事業の目的や進捗状況について共有していく。	
	名称	役割
その他に連携が必要と思われる対象と期待する役割(あれば記載)	関係企業(現時点では、株式会社D-createと株式会社BMU。有限会社プリエジャパン。今後も広げていきたいと考えている。)	就労先

### (4) 事業スケジュールについて

※自由に枠を追加・結合・分割してご記入ください。

時期	実施内容など	
4月	上旬	パンフレット作成・完成
	中旬	広報および広告(SNS含む)にて受講者募集
	下旬	広報および広告(SNS含む)にて受講者募集
5月	上旬	広報および広告(SNS含む)にて受講者募集
	中旬	MTG、広報および広告(SNS含む)にて受講者募集
	下旬	広報および広告(SNS含む)にて受講者募集
6月	上旬	賛同企業開拓
	中旬	MTG
	下旬	
7月	上旬	賛同企業開拓
	中旬	MTG

	下旬		スクーリング
8月	上旬	賛同企業開拓	
	中旬	MTG	スクーリング
	下旬		
9月	上旬	賛同企業開拓	
	中旬	MTG	スクーリング
	下旬		
10月	上旬	賛同企業開拓	
	中旬	MTG	スクーリング
	下旬		
11月	上旬	賛同企業開拓	
	中旬	MTG	スクーリング
	下旬		
12月	上旬	賛同企業開拓	
	中旬	MTG	スクーリング
	下旬		
1月	上旬	賛同企業への案内	最終テスト
	中旬	MTG	
	下旬		就職に向けたオリエンテーション
2月	上旬	賛同企業への案内	
	中旬		
	下旬		

### (5) 次年度以後の事業展開

<b>次年度の事業展開</b> <small>(「約2～3年後に実現を目指す  社会状況のイメージ」をふまえて)</small>	<input type="checkbox"/> 岡山市の一般施策としてより安定的かつ広範囲に展開していくことを目指す。 <input type="checkbox"/> 提案団体の自主事業として収益を得て継続・拡大していくことを目指す。 <input checked="" type="checkbox"/> 市民協働推進モデル事業として事業を継続しつつ、次々年度の一般施策化へ備える。 <input type="checkbox"/> 市民協働推進モデル事業として事業を継続しつつ、次々年度の自主事業化へ備える。 <input type="checkbox"/> その他 ( )
	<b>具体的な事業の目標</b>
	教育訓練講座としての認可、またはSIBの仕組づくりによる一般施策化
	<b>具体的な事業の内容</b>
	初年度の反省を生かして講座の確立を図るとともに、就労実績を高められるよう事業継続する。

(様式第3号)

### 協働事業収支予算書

提案事業名	シングルマザーの経済的自立に向けた資格取得・就労支援事業「結」
-------	---------------------------------

#### <収入>

費目		金額	内訳
自己資金等	申請団体 自己資金		
	合同提案 団体負担金等		
自己資金合計 (a)		0	
事業収入	事業収入見込み	96000	スクーリング及び試験 1回 2000円 X8回 = 16000円 X6人分
事業収入合計 (b)		96000	
岡山市補助金申請額 (c)		1000000	
収入合計 (d) = (a) + (b) + (c)		1096000	

#### <支出>

費目		金額	内訳
事業実施経費	人件費	734000	3名分(詳細別紙)
	教材費	249377	スクーリング用教材費(詳細別紙)
	消耗品費	71783	スクーリング用消耗品費(詳細別紙)
	印刷製本費	40840	広報用印刷物 2000部(デザイン費 20000円/印刷 15840円) 賛同企業向けチラシ 5000円
事業実施経費合計 (e)		1096000	
管理運営経費			
管理運営経費合計 (f)			
総事業費 (g) = (e) + (f)		1096000	

(添付書類等)

- ① 人件費等については、積算の根拠(これまでの実績や独自の単価表)を添付すること
- ② 参加料などの事業収入を見込む場合は「事業収入見込」欄に計上すること